

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい社会 歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『集める』『読み取る』『まとめる』という3つの視点から技能を身に付ける『スキル・アップ』が設けられている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、章、節、学習内容ごとで区切られ、『探究活動』『探究のステップ』『学習課題』というそれぞれの問いが設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題をテーマにした内容が『もつと歴史』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、子ども・女性・民族の人権や平和に関する内容が、『歴史にアクセス』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、対話的な活動が『みんなでチャレンジ』や『まとめの活動』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、地域の人や学芸員に話を聞き調査し、調査内容をまとめる活動が『身近な地域の歴史』で紹介されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容で課題をつかむ『学習課題』が提示され、『チェック』『トライ』で課題解決へ向けた問いが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他分野・他教科との関連を示す、『分野関連(地歴・歴史・3分野)マーク』『他教科関連マーク』が表記されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いなどの対話的な活動の学習課題が『みんなでチャレンジ』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、屏風絵や浮世絵などの絵画資料が『資料から発見!』に取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、調べ学習の準備や進め方が『地域の歴史を調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各章の導入部分で、小学校で学習した人物・文化財・出来事が太字で掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書籍やインターネットでの調べ方や集めた情報のまとめ方、発表の方法が『身近な地域の歴史』に示されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各章の冒頭に、小学校での学習を振り返る資料や年表が掲載され、各学習内容には『導入資料』『学習課題』や振り返りの問い『チェック』と『トライ』が設定されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『時期や年代』『推移』『比較』『相互の関連』『現在とのつながり』をポイントとして示した『見方・考え方』が記載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、『Xチャート』などの考えるための技法が、各章の『まとめの活動』に設けられている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、地域、日本の震災の歴史を取り上げた現代的な課題について考える、『地域の歴史を調べよう』や『歴史に学び、未来へと生かそう』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全7章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容ごとに、『学習課題』とその課題に即した『確認』『表現』が設けられ、学習内容を振り返る問いが設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各章のまとめには『学習のまとめと表現』が設けられ、年表や地図などの資料を用いて表現する活動が設けられている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、災害・地震、人口・移民など、現代社会の諸課題について取り扱う『歴史を探ろう』のページが掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、『働く女性や子どもたち』『改革や平等を求めて』が、『歴史を探ろう』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末で、資料や学習した内容をまとめ、説明する内容が『学習のまとめと表現』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]に「自然や人とのふれあい体験」について、時代ごとに地域の遺跡や古墳を訪ねる『身近な地域を調べよう』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、本時の『学習課題』が示され、その学習課題を深める問いが『確認』『表現』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、特設ページの脚注部に、地理・公民的分野との関連を示す『関連マーク』が表記されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、地図や年表を用いながら、各時代の特色を表現する活動が『学習のまとめと表現』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、各時代に関連する国宝・重要文化財・世界遺産の資料には、『国宝』『世界遺産』マークが表記されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、学び方の手がかかりとして『地域調査の手引き』が『身近な地域の歴史を調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した歴史上の人物に、『小学校』のマークが表記されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書籍やインターネットでの調べ方や、集めた情報のまとめ方、発表方法などが『身近な地域の歴史を調べよう』に示されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各章で導入の問いや学習のまとめとして『学習のまとめと表現』が掲載されている。また、各学習内容で『学習課題』が示され、振り返りの問いが『確認』『表現』に掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、歴史の見方・考え方に関連する内容が『歴史にアプローチ』『歴史の技』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、学習内容について視点を変えて捉える『歴史を探ろう』『歴史の窓』が設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、現代的な課題について考える『身近な地域の歴史を調べよう』や『歴史を探ろう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全7章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各学習内容において、『確認しよう』では知識の確認、『技能をみがく』『やってみよう』では技能を身に付ける課題が設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、『学習課題』や『説明しよう』で表現活動を行う問いが設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsに関連する内容など、現代の諸課題について考える『未来に向けて』が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、人権・平和の尊重や自然環境の保全に関する『未来に向けて』が設けられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末に、自分の考えを整理する問いやグループで話し合う活動が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、身近な地域を調べたり身近な人から話や言い伝えを聞いたりする内容が『歴史のとらえ方と調べ方』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各章の問い、節の問い、各学習内容と区別され、学習課題に対応したまとめや振り返りが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、学習内容と関連する人物や出来事について、ページの下部に『小学校・地理・公民との関連』のマークが表記されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、各章の終わりに、見方・考え方を働かせながら各時代の特色をまとめる活動が『章の学習を振り返ろう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、各時代に関連する文化史が取り上げられている。また、巻頭で『日本各地の伝統行事と祭り』に関連する資料が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、調べ学習や発表に関する学習の手順が、『歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各学習内容において、ページ下部に、小学校との関連が他分野との関連とともに掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、図書館やインターネットを使った情報の集め方や、野外調査の方法、地図の作成方法が『歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 章や節、各学習内容、それぞれで問いや学習課題が提示されている。各学習内容では『導入資料』『学習課題』の設定、振り返りの問い『確認しよう』『説明しよう』が掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、推移、相互の関連、時期や年代、比較という4つの見方・考え方の解説が『歴史的な見方・考え方を働かせよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、関連する資料から、問題の解決を図る活動が『多面的・多角的に考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、SDGsに関連する内容など、現代社会の諸課題を対象とした内容の『未来に向けて』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。2部6章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	山川	書名	中学歴史 日本と世界
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各学習内容において、導入の発問、本文、ステップアップによる振り返りという学習の流れが設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、学習内容に関する発問の設定、各章の最後に『まとめ』で表現に関する問いが設けられている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習する各時代に関連する現代の地域の課題が『地域からのアプローチ』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、人権に関連した題材と現代とのつながりや問いが『歴史へのアプローチ』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末のまとめとして、時代全体を俯瞰して考える問いや、課題について話し合い、発表し合う活動が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、司書や学芸員に相談する方法や、地域の方に聞き取り調査する方法が『身近な地域を調べよう』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容の冒頭に、テーマに関連する発問が記載され、『ステップアップ』では振り返りの問いが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、地域についての学習で、地理的分野の視点から事象を捉える『歴史を考えよう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、各章の最後に、時代全体を俯瞰して考えをまとめる活動を通して復習する『まとめ』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、絵巻物や屏風などの美術作品が『歴史を考えよう』に掲載され、巻頭に『日本の世界遺産』に関連する資料が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、地域の博物館や郷土資料館への見学・調査の学習例が、『身近な地域を調べよう』や『地域からのアプローチ』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物を扱い、時代の区分を振り返る内容が、『歴史との対話』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『図書館を利用しよう』『インターネットで昔の地図を見てみた』『発表しよう』などの調査、発表の方法が『身近な地域を調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 単元を見通せるように、各章の冒頭に、帯年表と写真が掲載され、各学習内容で導入の発問や『学習課題』が示され、振り返りが『ステップアップ』に掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期、推移、因果関係、差異の見方・考え方から、学習内容を考える問いが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、さまざまな立場や時代の特色を捉え、自分の言葉で表現する問いが、各章末の『まとめ』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、現代の諸課題について考察する内容、『地域からのアプローチ』『今日の世界』『現代の日本と世界』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全7章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 歴史的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。		○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □ 「知識・技能」の習得について、各学習内容で『学習課題』と『確認』が示され、振り返りや技能の習得を図る問い『深めよう』『スキルUP』が設けられている。 ② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『学習課題』を提示するとともに、『見方・考え方』『深めよう』で表現活動を行う問いが掲載されている。 ③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、現代社会の諸課題を考える例を掲示する『「歴史との対話」を未来に活かす』のページが設けられている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。		○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □ [思いやる力]の「人権教育」について、古代から現代までの各時代の女性の姿が、『女性史コラム』に掲載されている。 ⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、対話的な学びを促す活動が、特設ページ『チャレンジ歴史』に取り上げられている。 ⑥ □ [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、各時代と地域に関連する内容を紹介した『地域に学ぶ』や、身近な地域を調べる『でかけよう! 地域調べ』が掲載されている。
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、『学習課題』を提示し、『見方・考え方』『深めよう』では、学習課題への理解を深める問いが掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、道徳科や美術科の鑑賞と関連する内容、『先人に学ぶ』や『絵画資料の見方』が掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、各編のまとめに、各時代の特色や出来事について表現する活動が『学習の整理と活用』や『アクティビティ』に掲載されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、各文化のページで関連する美術作品や、地域に伝わる行事や歴史的な町並みについて、巻頭『私たちと歴史のつながり』に掲載されている。 ⑪ □ 体験学習の充実について、取り扱う学習テーマと関連させ、博物館や遺跡の見学や調べ学習の方法について、『でかけよう! 地域調べ』に掲載されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各学習内容において、ページ下部にある小学校の学習内容が、他分野の関連とともに『連携コーナー』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、情報を読み取る技能、収集する技能、まとめる技能に関する内容が『スキルアップ』に掲載されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 各学習内容において、『学習課題』と学習課題の解決にむけ、手がかりとなる『見方・考え方』が掲載され、まとめの問いが『確認』に設定されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、学習課題とともに、『時系列』『推移』『比較』『つながり』の4つをキーワードとして示した『見方・考え方』が掲載されている。 ⑰ □ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、社会的事象を時期や内容、立場を変えて表にまとめる作業が、編のまとめの『アクティビティ』に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動について、災害の歴史や政治参加の歴史など、未来へ向けての課題が『「歴史との対話」を未来に活かす』に掲載されている。		≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、『学習課題』を提示し、『見方・考え方』『深めよう』では、学習課題への理解を深める問いが掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、道徳科や美術科の鑑賞と関連する内容、『先人に学ぶ』や『絵画資料の見方』が掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、各編のまとめに、各時代の特色や出来事について表現する活動が『学習の整理と活用』や『アクティビティ』に掲載されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、各文化のページで関連する美術作品や、地域に伝わる行事や歴史的な町並みについて、巻頭『私たちと歴史のつながり』に掲載されている。 ⑪ □ 体験学習の充実について、取り扱う学習テーマと関連させ、博物館や遺跡の見学や調べ学習の方法について、『でかけよう! 地域調べ』に掲載されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各学習内容において、ページ下部にある小学校の学習内容が、他分野の関連とともに『連携コーナー』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、情報を読み取る技能、収集する技能、まとめる技能に関する内容が『スキルアップ』に掲載されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 各学習内容において、『学習課題』と学習課題の解決にむけ、手がかりとなる『見方・考え方』が掲載され、まとめの問いが『確認』に設定されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、学習課題とともに、『時系列』『推移』『比較』『つながり』の4つをキーワードとして示した『見方・考え方』が掲載されている。 ⑰ □ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、社会的事象を時期や内容、立場を変えて表にまとめる作業が、編のまとめの『アクティビティ』に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動について、災害の歴史や政治参加の歴史など、未来へ向けての課題が『「歴史との対話」を未来に活かす』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全6編で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。全6編で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	育鵬社	書名	[最新]新しい日本の歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① □ 「知識・技能」の習得について、各学習内容において、『課題』とまとめの問いが示され、歴史の流れをつかむ資料として『鳥の目で見ると』『虫の目で見ると』が掲載されている。</p> <p>② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容にまとめの問いが、また、各章末に『学習のまとめ』が設けられ、資料を説明する問いが掲載されている。</p> <p>③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、人口や震災の歴史を取り上げ、現代につながる課題について示した『歴史ズームイン』が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ □ [思いやる力]の「人権教育」について、古代から現代までの各時代に活躍した女性が『なでしこ日本史』に掲載されている。</p> <p>⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、資料を通じて分かったことを話し合う活動が『学習のまとめ』に取り上げられている。</p> <p>⑥ □ [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、身近な地域の歴史に関する調べ学習や地域の文化財の資料が、『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、学習の『課題』が提示され、『学習のまとめ』に各章の内容に沿った課題が掲載されている。</p> <p>⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、道徳科の内容項目「我が国の伝統文化の尊重」と関連する『日本人の誕生物語』『歴史の旅を始めよう』などの内容が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ □ 言語能力の育成について、歴史学習のまとめとして、日本の歴史における事件や人物についてまとめる活動が巻末『日本の歴史を大観する』に掲載されている。</p> <p>⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、各時代の美術作品や世界遺産が、巻頭『日本の美の形』、巻末『世界と日本の世界文化遺産』に掲載されている。</p> <p>⑪ □ 体験学習の充実について、身近な地域の歴史を調査、発表する学習内容、手順が、『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、『歴史探検!』で『小学校で学んだ人物と似顔絵』が紹介され、歴史年表と一致させる活動が掲載されている。</p> <p>⑬ □ 情報活用能力の育成について、情報活用の説明として『調査のしかた』や『調査のまとめ方(調査レポートの書き方)』が『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ □ 各学習内容に『課題』が記載されている。歴史の流れをつかむ学習として、2つの視点から見る資料『鳥の目で見ると』『虫の目で見ると』が掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ □ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、年表、地図、写真、グラフなど歴史に関わる資料を見る『歴史ズームイン』や『地域の歴史を調べてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑰ □ 社会的な事象を多面的・多角的に考察することについて、学習内容に関連する資料や解説が『このころ世界は』『歴史ズームイン』『歴史ビュー』『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑱ □ 課題を追究・解決する活動について、対立する意見を掲載し、課題を解決する活動が『歴史のターニングポイント』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。2部6章で構成されている。</p> <p>⑳ □ 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ □ 編修趣意書には、『図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行い、生徒が見やすいように配慮しました。ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(歴史的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-9～歴史的分野-18)を参照。

発行者の略称	学び舎	書名	ともに学ぶ人間の歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各学習内容において、学習課題が設定され、部ごとに学習のまとめが設けられている。また、各部のはじめに、部の学習課題が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、第1セクションに表現活動に関連する資料が掲載され、各部の最後『学習のまとめ』で表現する課題が設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、年表に書き入れる活動を通して、家庭と社会のつながりを想起させる学習課題が、『歴史を体験する』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、女性や子ども、青年の生き方や労働、教育について取り上げた内容が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、部の『学習のまとめ』で、時代の特色と時代の転換を振り返りながら、各時代の特色を考察し説明する学習が取り入れられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、地域の博物館での学習や地域調査などを通して郷土の歴史や文化を尊重・継承する内容が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、学習課題が掲載されている。また、各章では、学習内容をまとめる『章をふりかえる』が設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科の価値項目と関連する、平和や戦争についての記述が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、各章の振り返りの活動で、クイズやインタビュー、グループ活動が取り入れられた『学習のまとめ』が設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承した人々の営みなどが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、火おこしや綿から糸を紡ぐなどの体験の様子が、『歴史を体験する』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物をカードにまとめる活動が、『歴史への案内 歴史を楽しく学ぼう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、学芸員や説明員にインタビューをしながら、調べ学習に取り組む内容が、『地域の博物館で調べる』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 各学習内容において、第1セクションに表現活動に関連した資料を掲載するとともに、学習課題が掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、部や章を振り返る『各章をふりかえる』や『学習のまとめ』では、違いや関係性を考える課題が設けられている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、社会的事象を比較・関連させ、意見を交換して考える課題が『学習のまとめ』に設けられている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動について、歴史的な出来事と関連した現代の諸課題を解決するために何をすべきかを考える内容が『学習のまとめ』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。6部10章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(歴史的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、『集める』『読み取る』『まとめる』という3つの視点から技能を身に付ける『スキル・アップ』が設けられている。また、各章末での学習のまとめ活動が『基礎・基本のまとめ』『まとめの活動』で設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習内容ごとに、『学習課題』とその課題に即した『確認』『表現』が設けられ、学習内容を振り返る問いが設定されている。資料の読み取り方について『歴史の技』『読み解こう』が設けられている。
帝国	「知識・技能」の習得について、各学習内容において、『確認しよう』では知識の確認、『技能をみがく』『やってみよう』では技能を身に付ける課題が設定されている。また、時代を概観させる『タイムトラベル』のページが掲載されている。
山川	「知識・技能」の習得について、各学習内容において、導入の発問、本文、ステップアップによる振り返りという流れが設定されている。また、用語解説を設けたり、資料を読み取る技能の習得に関連した発問が掲載されたりしている。
日文	「知識・技能」の習得について、各学習内容で『学習課題』と『確認』が示され、振り返りや技能の習得を図る問い『深めよう』『スキルUP』が設けられている。また、歴史学習に関連する用語説明が『基本用語』で掲載されている。
育鵬社	「知識・技能」の習得について、各学習内容において、『課題』とまとめの問いが示され、歴史の流れをつかむ資料として『鳥の目で見ると』『虫の目で見ると』が掲載されている。また、歴史上の人物を紹介する『人物クローズアップ』が設けられている。
学び舎	「知識・技能」の習得について、各学習内容において、学習課題が設定され、部ごとに「学習のまとめ」が設けられている。各部のはじめに、部の学習課題が掲載されている。各章末に振り返りの活動、各部末に学習のまとめの活動が掲載されている。

② 教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、章、節、学習内容ごとで区切られ、『探究活動』『探究のステップ』『学習課題』というそれぞれの問いが設定されている。また、思考を整理し、表現する『まとめ活動』が設けられている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各章のまとめには『学習のまとめと表現』が設けられ、年表や地図などの資料を用いて表現する活動が設けられている。また、見開き2ページごとに、『表現』で問いが設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、『学習課題』や『説明しよう』で表現活動を行う問いが設定されている。各章の最後に、時代の特色を表現する活動が『章の学習を振り返ろう』で掲載されている。
山川	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、学習内容に関する発問の設定、各章の最後に『まとめ』が設けられている。また、資料を読み取り説明させるために、掲載されている資料に発問が提示されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『学習課題』を提示するとともに、『見方・考え方』『深めよう』で表現活動を行う問いが掲載されている。年表や地図から各時代の特色を表現する活動が『学習の整理と活用』で設けられている。
育鵬社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容にまとめの問いが、また、各章末に『学習のまとめ』が設けられ、資料を説明する問いが掲載されている。時代の特色を記載する活動が『「私の歴史博物館」をデザインしてみよう』で掲載されている。
学び舎	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各学習内容において、第1セクションに表現活動に関連する資料が掲載されている。各部末の『学習のまとめ』では、自分の言葉で表現する活動や意見交換などのグループ活動が掲載されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題をテーマにした内容が『もっと歴史』に掲載されている。また、章の『導入の活動』で、小学校の学習を振り返りながら考える『探究課題』が示されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、災害・地震、人口・移民など、現代社会の諸課題について取り扱う『歴史を探ろう』のページが掲載され、『歴史学習の終わりに』で自分たちには何ができるのかを考察・構想する内容が掲載されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsに関連する内容など、現代の諸課題について考える『未来に向けて』が掲載されている。文化財を取り上げた各時代の文化史のページや、各時代の地域の様子を描いた『地域史』が掲載されている。
山川	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習する各時代に関連する現代の地域の課題が『地域からのアプローチ』に掲載されている。学習する各時代の社会的事象と現代社会に関連する資料や問いが『歴史へのアプローチ』などに掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、現代社会の諸課題を考えるための例を提示する『「歴史との対話」を未来に活かす』のページが設けられ、また現代とつながる内容が『先人に学ぶ』『歴史を掘り下げる』『地域に学ぶ』などで掲載されている。
育鵬社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、人口や震災の歴史を取り上げ、現代につながる課題について示した『歴史ズームイン』が掲載され、現代の地域よさや課題を考えさせる資料が『地域の歴史を調べてみよう』で掲載されている。
学び舎	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、年表に書き入れる活動を通して、家庭と社会のつながりを想起させる学習課題が、『歴史を体験する』に掲載されている。各章の扉のページでは、世界地図とともに世界史の内容が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、子ども・女性・民族の人権や平和に関連して、人権尊重・多文化共生の内容が、『歴史にアクセス』に掲載されている。また、『「解放令」から水平社へ』が特設ページ『もっと歴史』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、『働く女性や子どもたち』『改革や平等を求めて』が、『歴史を探ろう』に掲載されている。また、人権や平和に関連する内容が『歴史の窓』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「人権教育」について、人権・平和の尊重や自然環境の保全に関する『未来に向けて』が設けられている。また、人々の多様性を考える『はじめに～さまざまな立場や多様性を踏まえた未来のために～』が掲載されている。
山川	[思いやる力]の「人権教育」について、人権に関連した題材と現代とのつながりや問いが『歴史へのアプローチ』に掲載されている。また、『人口の推移から札幌の未来と多文化共生社会を考えよう』で現代の地域の課題が掲載されている。
日文	[思いやる力]の「人権教育」について、古代から現代までの各時代の女性の姿が、『女性史コラム』に掲載されている。また、人権に関連した内容が『歴史+α』に掲載されている。
育鵬社	[思いやる力]の「人権教育」について、古代から現代までの各時代に活躍した女性が『なでしこ日本史』に掲載されている。また、人権に関連する内容が『人物クローズアップ』や『歴史ビュー』に掲載されている。
学び舎	[思いやる力]の「人権教育」について、女性や子ども、青年の生き方や労働、教育について取り上げた内容が掲載されている。また「いのちの大切さ」について、伝染病や自然災害などの歴史に目を向け、生命の尊重や環境保全に関する内容が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、対話的な活動が『みんなでチャレンジ』や『まとめの活動』に設定されている。持続可能な社会に関わるテーマを考える活動が『歴史に学び、未来へと生かそう』に取り上げられている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末で、資料や学習した内容をまとめ、説明する内容が『学習のまとめと表現』に掲載され、現代社会の課題からテーマを選択し考察する問いが『歴史学習の終わりに』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末に、自分の考えを整理する問いやグループで話し合う活動が掲載されている。また、情報通信技術の発展や人工知能(AI)の発達が社会に与える影響、防災などの今後の課題が記述されている。
山川	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、各章末のまとめとして、時代全体を俯瞰して考える問いや、課題について話し合い、発表し合う活動が掲載されている。また、女性の社会進出について『歴史へのアプローチ』で掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、対話的な学びを促す活動が、特設ページ『チャレンジ歴史』に取り上げられている。また、コラム『先人に学ぶ』では、生活の向上や、文化の発展、平和などに取り組んだ先人が紹介されている。
育鵬社	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、資料を通じて分かったことを話し合う活動が『学習のまとめ』に取り上げられている。また、歴史上の人物の功績が、『人物クローズアップ』に取り上げられている。
学び舎	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、部の『学習のまとめ』で、時代の特色と時代の転換を振り返りながら各時代の特色を考察し説明する学習が掲載されている。また、子どもや町人など、時代ごとの庶民の生活が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、地域の人や学芸員に話を聞き調査し、まとめる活動が『身近な地域の歴史』で紹介され、『もっと歴史』では歴史上の震災とその教訓の継承や安全なまちづくりに参画する内容が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]に「自然や人とのふれあい体験」について、地域の遺跡や古墳を訪ねる『身近な地域を調べよう』で『地域の遺産や古墳を訪ねて』『地域の寺社を訪ねて』など、時代ごとのテーマが掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、身近な地域を調べたり身近な人から話や言い伝えを聞いたりする内容が『歴史のとらえ方と調べ方』に掲載されている。また、環境・交流・人権・平和のテーマとした『未来に向けて』が掲載されている。
山川	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、司書や学芸員に相談する方法や、地域の方に聞き取り調査する方法が『身近な地域を調べよう』に掲載され、また、『地域からのアプローチ』で『博物館に行ってみよう』が掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、各時代と地域に関連する内容を紹介した『地域に学ぶ』、身近な地域を調べる『でかけよう！地域調べ』、これからの考える『「歴史との対話」を未来に活かす』が掲載されている。
育鵬社	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、身近な地域の歴史に関する調べ学習や地域の文化財の資料が、『地域の歴史を調べてみよう』に掲載され、農村の復興を指導した二宮尊徳が『人物クローズアップ』で掲載されている。
学び舎	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、地域の博物館での学習や地域調査などを通して郷土の歴史や文化を尊重・継承する内容や、震災復興のまちづくりに小・中学生が参加したことが『未来は私たちの手の中に』で掲載されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容で課題をつかむ『学習課題』が提示され、『チェック』『トライ』で課題解決へむけた問いが掲載されている。また、考え、表現する活動『みんなでチャレンジ』が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、本時の『学習課題』が示され、その学習課題を深める問いが『確認』『表現』に掲載されている。各章の導入では比較する資料を掲載し、各章の終わりには『学習のまとめと表現』が掲載されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、各章の問い、節の問い、各学習内容と区別され、学習課題に対応したまとめや振り返りが掲載されている。また、各章のはじめに『タイムトラベル』、各章の終わりに『章の学習を振り返ろう』が掲載されている。
山川	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容の冒頭に、テーマに関する発問が記載され、『ステップアップ』では振り返りの問いが掲載されている。また、自分自身で考え、判断・表現する発問が各学習内容で掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、『学習課題』を提示し、『見方・考え方』『深めよう』では、学習課題への理解を深める問いが掲載されている。また、各編は、導入のページと振り返るまとめのページが掲載されている。
育鵬社	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、学習の『課題』が提示され、『学習のまとめ』に各章の内容に沿った課題が掲載され、また、各時代の学習に関連する内容が『歴史ズームイン』や『歴史のターニングポイント』に掲載されている。
学び舎	主体的・対話的で深い学びについて、各学習内容において、学習課題が掲載されている。また、各章では、学習内容をまとめる『章をふりかえる』が設定されている。また、『歴史を体験する』では、調べ学習や討論の方法について掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、他分野・他教科との関連を示す、『分野関連(地歴・歴公・3分野)マーク』『他教科関連マーク』、エネルギーや環境を取り上げた『もっと歴史』では、他教科(理科・保健体育科・道徳科)との関連が示されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、特設ページの脚注部に、地理・公民的分野との関連を示す『関連マーク』が表記されている。『人口の変化や海外への移民』では、脚注部に地理・公民の『関連マーク』が掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、学習内容と関連する人物や出来事について、ページの下部に『小学校・地理・公民との関連』のマークが表記されている。また、歴史学習と各分野の学習目標との関連を説明する内容が掲載されている。
山川	カリキュラム・マネジメントについて、地域についての学習で、地理的分野の視点から事象を捉える『歴史を考えよう』が掲載されている。『平安京と京都の町を考える』では、地図や寺院、関連する文学が掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、道徳科や美術科の鑑賞と関連する内容『先人に学ぶ』や、歴史と関連する美術品の絵巻物や屏風絵が掲載され、鑑賞する際のポイントが『絵画資料の見方』で設定されている。
育鵬社	カリキュラム・マネジメントについて、道徳科の内容項目「我が国の伝統文化の尊重」と関連する『日本人の誕生物語』『歴史の旅を始めよう』などの内容が掲載されている。『日本の美の形』では、日本史と関連する美術作品が掲載されている。
学び舎	カリキュラム・マネジメントについて、『歴史と出会う 6月23日、沖縄で』や『盲目の戦争孤児』など、道徳科の価値項目と関連する内容が掲載されている。また、生命の尊重に関連する内容が『歴史を体験する』で掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた掲載や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、話し合いなどの対話的な活動の学習課題が『みんなでチャレンジ』に掲載されている。また、各章の終わりに、時代の特色をまとめる活動『まとめの活動』が設けられている。
教出	言語能力の育成について、地図や年表を用いながら、各時代の特色を表現する活動が『学習のまとめと表現』に掲載されている。『近世の日本と世界』のまとめでは、江戸時代の様子を描写した資料や絵が掲載されている。
帝国	言語能力の育成について、各章の終わりに、見方・考え方を働かせながら各時代の特色をまとめる活動が『章の学習を振り返ろう』に掲載されている。また、各学習内容で、社会的事象を表現する問いが『確認しよう』『説明しよう』で掲載されている。
山川	言語能力の育成について、各章の最後に、時代全体を俯瞰して考えをまとめる活動を通して復習する『まとめ』が掲載されている。また、各学習内容において、自分自身で考え、判断・表現する発問が掲載されている。
日文	言語能力の育成について、各編のまとめに、各時代の特色や出来事について表現する活動が『学習の整理と活用』や『アクティビティ』に掲載されている。また、対話し表現する内容が『チャレンジ歴史』に掲載されている。
育鵬社	言語能力の育成について、歴史学習のまとめとして、日本の歴史における事件や人物についてまとめる活動が巻末『日本の歴史を大観する』に掲載されている。また、各章末に学習内容をまとめる活動が『学習のまとめ』に掲載されている。
学び舎	言語能力の育成について、各章の振り返りの活動で、クイズやインタビュー、グループ活動が取り入れられた『学習のまとめ』が設定されている。また、話し合い、説明をさせる『章のふりかえり』が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、屏風絵や浮世絵などの絵画資料が『資料から発見!』に取り上げられている。また、巻頭・巻末には『日本の国宝・重要文化財』や『各地の主な史跡』が紹介されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、各時代に関連する国宝・重要文化財・世界遺産の資料には、『国宝』『世界遺産』マークが表記されている。また、身近な地域の歴史と、郷土の伝統・文化に着目する『身近な地域の歴史を調べよう』が設けられている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、各時代に関連する文化史が取り上げられている。また、巻頭で『日本各地の伝統行事と祭り』に関連する資料が掲載されている。また、琉球やアイヌの人々の歴史や文化について取り上げている文化史が掲載されている。
山川	伝統や文化に関する教育の充実について、絵巻物や屏風などの美術作品が『歴史を考えよう』に掲載され、巻頭に『日本の世界遺産』に関連する資料が掲載されている。また、当時の生活の様子を記した資料が『歴史へのアプローチ』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、各文化のページで関連する美術作品や、地域に伝わる行事や歴史的な町並みについて、巻頭『私たちと歴史のつながり』に掲載されている。また、琉球やアイヌなど、我が国の伝統文化に関する内容が掲載されている。
育鵬社	伝統や文化に関する教育の充実について、各時代の美術作品や世界遺産が、巻頭『日本の美の形』、巻末『世界と日本の世界文化遺産』に掲載されている。また、シャボンズをテーマとした内容が『歴史ズームイン』に掲載されている。
学び舎	伝統や文化に関する教育の充実について、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承した人々の営みなどが掲載されている。また、『盆踊りの誕生』や『銀閣をつくった人びと』を紹介し、社会に与えた影響について掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験学習の充実について、調べ学習の準備や進め方が『地域の歴史を調べよう』に掲載されている。また、インターネットや博物館、美術館での聞き取り調査の方法が、『身近な地域の歴史』に掲載されている。
教出	体験学習の充実について、学び方の手がかりとして『地域調査の手引き』が『身近な地域の歴史を調べよう』に掲載されている。また、地域の遺跡や古墳、地域の寺社、地域の街道や港を訪ねるなど、地域社会と関わりながら学ぶ例が掲載されている。
帝国	体験学習の充実について、調べ学習や発表に関する学習の手順や、図書館や博物館、資料館、インターネットでの調査や、野外・聞き取り調査方法やレポートによる発表に関する内容が『歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた』に掲載されている。
山川	体験学習の充実について、地域の博物館や郷土資料館への見学・調査の学習例が、『身近な地域を調べよう』や『地域からのアプローチ』に掲載されている。また『地域からのアプローチ』では、地域の博物館や郷土資料館への見学・調査が示されている。
日文	体験学習の充実について、取り扱う学習テーマと関連させ、博物館や遺跡の見学や調べ学習の方法について、『でかけよう! 地域調べ』に掲載され、また、資料から課題について考える活動や体験について記述された『チャレンジ歴史』が設定されている。
育鵬社	体験学習の充実について、身近な地域の歴史を調査、発表する学習内容、手順が、『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。また、地域に残る文化財や資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を考察する内容が掲載されている。
学び舎	体験学習の充実について、火おこしや綿から糸を紡ぐなどの体験の様子が、『歴史を体験する』に掲載されている。また、『歴史への案内』で博物館での調査に関する内容を記載した『歴史を体験する』が掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各章の導入部分で、小学校で学習した人物・文化財・出来事が太字で掲載されている。また、学習の振り返りとして、第1章で歴史の流れを示したイラスト、各章の導入に小学校で学習した資料を掲載している。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した歴史上の人物に、『小学校』のマークが表記されている。また、第1章で『歴史すごろくにチャレンジしよう』や『歴史にアプローチ』で人物や文化財を取り上げ、小・中学校の歴史をつなげる活動が設定されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、各学習内容において、ページ下部に、小学校との関連が他分野との関連とともに掲載されている。また、各時代の様子を描いた『タイムトラベル』の右上に、『小学校で学んだ主な出来事』が年表の中で記されている。
山川	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物から、時代の区分を振り返る内容が、『歴史との対話』に掲載されている。また、『歴史を大きく変えた人物』について紹介し、人物カードを作成する活動が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、各学習内容において、ページ下部に小学校の学習内容が、他分野の関連とともに『連携コーナー』に掲載されている。また、『私たちと歴史』や各時代の導入の年表で、小学校での学習内容が記されている。
育鵬社	学校段階間の円滑な接続について、『歴史探検!』で『小学校で学んだ人物と似顔絵』が紹介され、歴史年表と一致させる活動が掲載されている。また、年代や時代区分の表し方を説明する内容が掲載されている。
学び舎	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物をカードにまとめる活動が、『歴史への案内 歴史を楽しく学ぼう』に掲載されている。『章の扉』では世界地図を中心に掲載し、世界史と関連する内容が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、書籍やインターネットでの調べ方や集めた情報のまとめ方、発表の方法が『身近な地域の歴史』に示されている。また、インターネットを活用した学習が効果的な部分には『Dマーク』が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、書籍やインターネットでの調べ方や、集めた情報のまとめ方、発表方法などが『身近な地域の歴史を調べよう』に示されている。資料や新聞から情報を集めるポイントや図や年表で表す方法が『歴史の技』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、図書館やインターネットを使った情報の集め方や、野外調査の方法、地図の作成方法が『歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた』に掲載されている。また、『資料活用』のマークとともに、発問が掲載されている。
山川	情報活用能力の育成について、『図書館を利用しよう』『インターネットで昔の地図を見てみた』『発表しよう』などの調査、発表の方法が『身近な地域を調べよう』に掲載されている。また、写真やグラフなどの資料に、発問が掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、情報を読み取る技能、収集する技能、まとめる技能に関する内容が『スキルアップ』に掲載されている。文化財やグラフに『資料活用』のマークを添え、資料を読み取る視点が記載されている。
育鵬社	情報活用能力の育成について、情報活用の説明として『調査のしかた』や『調査のまとめ方（調査レポートの書き方）』が『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。また、学習に関連した情報を紹介する内容にマークが記載されている。
学び舎	情報活用能力の育成について、学芸員や説明員にインタビューをしながら、調べ学習に取り組む内容が、『地域の博物館で調べる』に掲載されている。また、図書館やインターネットで調べる課題が、『章のふりかえり』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、見開きごとに学習内容の時期を着色した年表が左下に設けられている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、各学習内容のテーマ表記の上に、学習している時代が掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、見開きごとに学習内容の時期を着色した年表が右端に掲載されている。
山川	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、歴史上の人物について詳しく説明する『人物』が掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、見開きごとに学習内容の時期を着色した年表が右端に設けられている。
育鵬社	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、社会的事象について詳しく説明する内容が『歴史ビュー』に記述されている。
学び舎	生徒の学習上の困難さへの対応について、挿絵や写真などの資料には番号が付けられ、側注には、歴史的建造物や社会的事象などについて、用語の解説が記載されている。また、見開きごとに社会的事象について関連する内容や人物の紹介が掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	各章の冒頭に、小学校での学習を振り返る資料や年表が掲載され、各学習内容には『導入資料』『学習課題』や振り返りの問い『チェック』と『トライ』が設定されている。また、各章の終わりに『基礎・基本のまとめ』と『まとめの活動』が掲載されている。
教出	各章で導入の問いや学習のまとめとして『学習のまとめと表現』が、各学習内容で『学習課題』が示され、振り返りの問いが『確認』『表現』に掲載されている。『学習のまとめと表現』では年表や地図が設けられた課題や歴史新聞でまとめる活動が掲載されている。
帝国	章や節、各学習内容、それぞれで問いや学習課題が提示されている。各学習内容では『導入資料』『学習課題』の設定、振り返りの問い『確認しよう』『説明しよう』が掲載されている。また、各章の学習のまとめが『章の学習を振り返ろう』に設定されている。
山川	単元を見通せるように、各章の冒頭に、帯年表と写真が掲載され、各学習内容で導入の発問や『学習課題』が示され、振り返りが『ステップアップ』に掲載されている。また、各章の終わりに、学習のまとめの活動が設定されている。
日文	各学習内容において、『学習課題』と学習課題の解決にむけ、手がかりとなる『見方・考え方』が掲載され、まとめの問いが『確認』に設定されている。また、各編のまとめとして、時代の特色を捉える活動が『学習の整理と活用』に掲載されている。
育鵬社	各学習内容に『課題』が記載されている。歴史の流れをつかむ学習として、2つの視点から見る資料『鳥の目で見ると』『虫の目で見ると』が掲載されている。また、各章末で、年表や資料から学習内容を振り返る活動が、『学習のまとめ』で設定されている。
学び舎	各学習内容において、第1セクションに表現活動に関連した資料、学習課題が掲載されている。また、各時代に関連した地図や資料とともに学習を振り返る活動が、『各章をふりかえる』や『学習のまとめ』に設定されている。

⑩ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『時期や年代』『推移』『比較』『相互の関連』『現在とのつながり』をポイントとして示した『見方・考え方』が記載されている。資料の特徴や各時代の人物の立場から考える問いが『みんなでチャレンジ』に掲載されている。
教出	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『時期や推移』『比較』『関連』を例として見方・考え方を説明する内容が『歴史にアプローチ』に掲載されている。また、資料を『比較』『関連』させ、考えさせる問いが『歴史の技』に掲載されている。
帝国	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、推移、相互の関連、時期や年代、比較の4つの見方・考え方の解説が『歴史的な見方・考え方を働かせよう』に、『歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を説明しよう』が章の振り返りに掲載されている。
山川	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期、推移、因果関係、差異の見方・考え方から、学習内容を考える問いが掲載されている。また、各章の導入の発問、ステップアップの課題、図版に関連した発問が掲載されている。
日文	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、学習課題とともに、『時系列』『推移』『比較』『つながり』の4つをキーワードとして示した『見方・考え方』が掲載されている。また、『「歴史的な見方・考え方」とは?』に詳しい説明が掲載されている。
育鵬社	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、年表、地図、写真、グラフなど歴史に関わる資料を見る『歴史ズームイン』や『地域の歴史を調べてみよう』が掲載されている。また、文化財や人物などを解説する『歴史ビュー』が掲載されている。
学び舎	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、部や章を振り返る『各章をふりかえる』や『学習のまとめ』では、違いや関係性を考える課題が設けられている。また、資料の比較やつながりについて考える活動が掲載されている。
⑪ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、『Xチャート』や『くらげチャート』など、考えるための技法が、各章の『まとめの活動』に設けられている。また、『探究課題』『探究のステップ』『学習課題』『チェック』『トライ』が設けられている。
教出	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、学習内容について視点を変えて捉える『歴史を探ろう』『歴史の窓』が設定されている。歴史的な事象を多面的、多角的に考察し、自分の言葉でまとめる活動が、『学習のまとめと表現』に掲載されている。
帝国	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、関連する資料から、問題の解決を図るための活動が、『多面的・多角的に考えてみよう』に掲載されている。また、各章末に、学習した内容を自分の言葉でまとめる活動が、『章の学習を振り返ろう』に設定されている。
山川	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、さまざまな立場や時代の特色を捉え、自分の言葉で表現する問いが、各章末の『まとめ』に掲載されている。また、多面的・多角的に考察する内容や資料が『歴史を考えよう』に掲載されている。
日文	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、社会的な事象を時期や内容、立場を変えて表にまとめる作業が、編のまとめの『アクティビティ』に設定され、資料をもとに対話したり、体験したりする資料が、『チャレンジ歴史』に掲載されている。
育鵬社	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、学習内容に関連する資料や解説が『このころ世界は』『歴史ズームイン』『歴史ビュー』『地域の歴史を調べてみよう』に掲載されている。各時代を自分の言葉でまとめる活動が『学習のまとめ』に設定されている。
学び舎	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、社会的な事象を比較・関連させ、意見を交換して考える課題が『学習のまとめ』に設けられている。また、各章の初めに、北極を中心とした地図で、世界とのつながりを示した内容や資料が掲載されている。
⑫ 課題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追及・解決する活動について、地域、日本の震災の歴史を取り上げた現代的な課題について考える、『地域の歴史を調べよう』や『歴史に学び、未来へと生かそう』が掲載されている。また、各節の冒頭と各章末に『探究課題』が設けられている。
教出	課題を追及・解決する活動について、現代的な課題について考える『身近な地域の歴史を調べよう』や『歴史を探ろう』が掲載されている。また、歴史学習の終わりに、『現代の課題について、歴史の流れをふまえて考えてみよう』が設けられている。
帝国	課題を追及・解決する活動について、SDGsに関連する内容など、現代社会の諸課題について課題を追及・解決する内容の『未来に向けて』が掲載されている。また、章・節・学習内容で、『章の問い』『節の問い』『学習課題』が設定されている。
山川	課題を追及・解決する活動について、現代の諸課題について考察する内容、『地域からのアプローチ』『今日の世界』『現代の日本と世界』が掲載されている。また、課題について話し合い、考察する活動が『歴史を考えよう』に設定されている。
日文	課題を追及・解決する活動について、災害の歴史や政治参加の歴史など、未来へ向けての課題が『「歴史との対話」を未来に活かす』に掲載されている。また、考えたり対話したりする課題が『チャレンジ歴史』に設定されている。
育鵬社	課題を追及・解決する活動について、対立する意見を掲載し、課題を解決する活動が『歴史のターニングポイント』に掲載されている。また、歴史での学習を将来にどう生かしていくのかを文書にまとめる活動が『歴史学習のまとめ』で掲載されている。
学び舎	課題を追及・解決する活動について、歴史的な出来事と関連した現代の諸課題を解決するために何をすべきかを考える『歴史を現代とつなげて、考えを深めましょう。』という内容が『学習のまとめ』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『歴史へのとびら』『古代までの日本』『中世の日本』『近世の日本』『開国と近代日本の歩み』『二度の世界大戦と日本』『現代の日本と私たち』の全7章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『歴史のとらえ方・調べ方』『原始・古代の日本と世界』『中世の日本と世界』『近世の日本と世界』『日本の近代化と国際社会』『二度の世界大戦と日本』『現代の日本と世界』の全7章で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『歴史のとらえ方と調べ方』『歴史の大きな流れと時代の移り変わり』の全2部6章で構成されている。
山川	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『歴史との対話』『古代までの日本』『中世の日本』『近世の日本』『近代の日本と国際関係』『二つの世界大戦と日本』『現代の日本と世界』の全7章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『私たちと歴史』『古代までの日本と世界』『中世の日本と世界』『近世の日本と世界』『近代の日本と世界』『現代の日本と世界』の全6編で構成されている。
育鵬社	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。1部『原始と古代の日本』『中世の日本』『近世の日本』2部『近代の日本と世界』『二度の世界大戦と日本』『現代の日本と世界』の全2部6章で構成されている。
学び舎	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『原始・古代』『中世』『近世』『近代』『二つの世界大戦』『現代』の全6部10章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
山川	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
育鵬社	判型はA B判が採用されている。
学び舎	判型はA 4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD）の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
山川	『この教科書は、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
育鵬社	編修趣意書には、『図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行い、生徒が見やすいように配慮しました。ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。』と表記されている。
学び舎	『より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

東書	<p>1ページ 鉄道の開通(三代目歌川広重筆 横浜海岸鉄道蒸気車図 神奈川県 横浜開港資料館蔵)の写真と記事 63～73ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 75ページ モンゴル帝国の拡大 76ページ 北条時宗(神奈川県 円覚寺蔵)の写真 78ページ 後醍醐天皇(神奈川県 清浄光寺[遊行寺]蔵)の写真 79ページ 主な守護大名 127ページ 近世の交通 135ページ 葛飾北斎の風景画(富嶽三十六景 神奈川県浪裏 東京国立博物館蔵)。 136ページ ペリー来航(浦賀) 162～163ページ 『開国と不平等条約』に関する記述や資料 166～167ページ 『倒幕の動き』に関する記述と資料 172ページ 新橋・横浜間を走った1号機関車 175ページ 玉すし(二代目歌川国輝筆 東京銀座要路煉瓦石造真図 神奈川県立歴史博物館蔵) 177ページ 岩倉使節団の航路 194ページ 交通と産業の発達 198ページ 急ごしらえされた電信柱(三代目歌川広重筆 東海名所改正道中記 程ヶ谷 神奈川県 横浜市立図書館蔵) 221ページ 関東大震災 251ページ 日本に到着したマッカーサー(神奈川県厚木市) 263ページ 全国の公害(公害健康被害補償法の指定地域) 巻末ページ 各地の主な史跡 旧国名地図</p>
教出	<p>66～76ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 85ページ 北条氏の小田原(神奈川県) 90ページ 円覚寺(神奈川県鎌倉市)の写真と記事 128ページ 箱根関所(神奈川県)の写真と記事 145ページ 江戸湾に現れた軍艦(神奈川県立歴史博物館蔵)の写真 160～161ページ 『ペリー来航と開国』に関する記述や資料 162～163ページ 『倒幕の動き』に関する記述と資料 169ページ 産産置県 172ページ 産産興業 175ページ 岩倉使節団のコース 197ページ 明治時代の主な工場や鉱山と鉄道の広がり 225ページ 関東大震災 238ページ 関東大震災 274～275ページ 『身近な地域の歴史を調べよう』(川崎市に関する記述や資料) 290ページ 記憶に残る主な震災 巻末ページ 各地の主な遺跡・史跡・できごと</p>
帝国	<p>巻頭1ページ 鶴岡八幡宮流鏝馬神事(神奈川県鎌倉市)の写真と記事 64～75ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 87ページ 北条早雲(神奈川県 早雲寺蔵)の写真 140ページ 伊勢参り(歌川(安藤)広重作「伊勢神宮 宮川の渡し」神奈川県立歴史博物館蔵)の写真と記事 140ページ 葛飾北斎が描いた風景画(「富嶽三十六景 神奈川県浪裏 静岡県MOA美術館蔵)の写真 164ページ 『ペリー来航』に関する記述と資料 166～167ページ 『倒幕の動き』に関する記述や資料 172ページ 産産興業 176～177ページ 『世界に開かれた港 横浜』(神奈川県横浜市)の写真と記事 178ページ 岩倉使節団のルート 198ページ 明治時代の産業と鉄道 227ページ 関東大震災 258ページ 終戦後の横浜市街の様子(神奈川県横浜市)の写真と記事 巻末ページ 歴史の舞台を訪ねよう①</p>

山川	<p>69ページ 陶磁器の主要産地 70～75ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 82ページ モンゴル帝国とモンゴル襲来関係図 84ページ 後醍醐天皇(神奈川県藤沢市清浄光寺〔遊行寺〕蔵) 85ページ 守護大名の分布 96ページ 北条氏康(神奈川県 早雲寺蔵)の写真 115ページ 信長・秀吉の統一事業 131ページ 江戸時代の交通 145ページ 富嶽三十六景(葛飾北斎画「神奈川沖浪裏」アメリカ合衆国 メトロポリタン美術館蔵)の写真 146ページ 列強の接近 166～167ページ 『ペリー来航』に関する記述 168～169ページ 『貿易開始とその影響』に関する記述や資料 170ページ 『倒幕への動き』に関する記述 176～177ページ 『富国強兵と殖産興業』に関連する記述や資料 178ページ 富岡製糸場の位置 181ページ 横浜毎日新聞(神奈川県 日本新聞博物館蔵) 182ページ 岩倉使節団の行路 195ページ 山縣有朋 203～204ページ 『鉄道網と産業の発達』に関する記述や資料 207ページ 社会・労働問題の発生 209ページ 黒田清輝「湖畔」 225ページ 1920年代の日本経済 227ページ 関東大震災</p>
日文	<p>64ページ 現在も行われる流鏝馬(神奈川県鎌倉市 鶴岡八幡宮)の写真と記事 65ページ 鎌倉時代の武士の館(一遍上人絵伝 神奈川県清浄光寺〔遊行寺〕蔵)の写真と記事 72～84ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 88ページ 鎌倉幕府の滅亡と後醍醐天皇の動き 152ページ 葛飾北斎の風景画(富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」東京富士美術館蔵)の写真 152ページ おかげ参り(伊勢神宮宮川の渡し 神奈川県立歴史博物館蔵)の写真と記事 152ページ 今も残る道標(神奈川県伊勢原市)の写真と記事 159ページ 解体された小田原城天守閣の写真 174～176ページ 『ペリー来航』『倒幕の動き』に関する記述や資料 182～183ページ 『殖産興業と富国強兵—欧米諸国に対抗するために—』に関する記述や資料 188ページ 1874年ごろの東京銀座のれんが街(東京開化名勝京橋石造銀座通り 両側煉瓦石商家盛栄之図 神奈川県立歴史博物館蔵)の写真 191ページ 岩倉使節団の行路 226ページ 船の進水式(1917年 神奈川県横浜市)の写真と記事 235ページ 関東大震災 308ページ 一遍上人絵伝(神奈川県清浄光寺〔遊行寺〕蔵)の写真と記事</p>
育鵬社	<p>巻頭ページ 旧石器時代の人々(旧石器ハテナ館・神奈川県相模原市) 6ページ 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(葛飾北斎作 江戸東京博物館蔵)の写真 72～83ページ 『鎌倉幕府』に関する記述や資料 95ページ 室町時代の主な交通路と各地の特産物 121ページ 江戸初期の主な大名の配置 131ページ 江戸時代の交通と都市と産物 132ページ 東海道五十三次 戸塚 141ページ 主な外国船の接近 145ページ 伊勢参りのようす 155ページ 近代の日本と世界 咸臨丸 (横浜開港資料館蔵) 156～159ページ 横浜の歴史として写真と記事 170～173ページ 『ペリー来航』『倒幕の動き』に関する記述や資料 179ページ 廃藩置県による新しい都道府県 185ページ 岩倉使節団632日間の行程「横浜港を出発した」 187ページ 新橋・横浜間の鉄道開通(横浜市中心図書館蔵)の写真と記事 215ページ 氷川丸(横浜市 山下公園) 229ページ 関東大震災 260ページ 虫の目で見る現代 「新幹線の歴史を見てみよう」 巻末ページ 日本列島・歴史の宝庫 「各地の主な遺跡・史跡」</p>

学び舎	26ページ	縄文土器（約9200年前）/神奈川県夏島貝塚から出土・約6000年前の日本列島
	62～71ページ	『鎌倉幕府』に関する記述や資料
	75ページ	座と各地の特産物
	83ページ	北条氏康（小田原城天守閣所蔵模本）の写真
	100ページ	石切り場（『石切図屏風』小田原市郷土文化館蔵）
	119ページ	田沼意次の政治
	127ページ	葛飾北斎（『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』東京国立博物館蔵）の写真
	150～151ページ	『ペリーの来航』に関する記述と資料
	152～153ページ	『横浜港の貿易』『倒幕の動き』に関する記述と資料
	160～161ページ	岩倉使節団が見た世界
	168ページ	のびる鉄道と電信
	171ページ	横浜港から九州に向かう政府軍の兵士
	172ページ	学芸講談界での議論 五日市と東京・横浜
	204～205ページ	米屋に向かう民衆ー米騒動ー
207ページ	関東大震災	
257ページ	日本にあった主なアメリカ軍基地（『朝日年間』1953年版より）	
275ページ	福島第一原子力発電所からもれた放射能の広がり（2011年12月9日）（早川由紀夫による）	
巻末ページ	歴史地図	

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名						
東書	有					
教出	有					
帝国	有					
山川	有					
日文	有					
育鵬社	有					
学び舎	無					

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	重量(g)				
東書	1	602				
教出	1	629				
帝国	1	619				
山川	1	599				
日文	1	656				
育鵬社	1	632				
学び舎	1	703				